通巻第143号 (昭和63年8月初巻) 2024年8月発行

補償コンサルタント情報コミュニケーション

こちらも ご覧下さい

社/〒454-0011 名古屋市中川区山王一丁目8番28号 T E L : 052-331-5356FAX: 052-331-4010

。行

う真

 \mathcal{O}

所 と

有 に者

なの

り確

ま認

る

店/岐阜、三重、豊田、東三河、西三河、稲沢、一宮、春日井、関東、東北、福島、奈良

営業所/静岡、関西、伊勢 https://www.shinnichi.co.jp E-mail:shinnichi@shinnichi.co.jp URL

品質マネジメントシステム

IS09001:2015

情報セキュリティ マネジメントシステム

IS027001:2013

づ提り調 、査 き供 査に と方建述者に さ事を を対当れ前実 思法物べのお 行し該たに施 いに等ま確い

対そいし

ま建的

。て地す地あ。施

の土建場あを接も複査な調意建

をえ収力

者記合す土と

認よ基

本

所査了る象の記しす地具

、地

帳のなで有登て

、所よ先

、ん認ら場登い名ま同

。す真合記る義す意

。にるそす当有対解土で確簿まる実体

ょ

建す物に建特で集にとる者とり等税場き者記いず亡まがり物。の建物定、すよかこがは管を務合まを簿な相したあへ

所物のし真るりらと個可理確課はせ推かい続て有登場まのこ必、は人能人認な、ん認ら場登い

要起困情でをすど市

所を情者でをが定こ課村のこ土

。ち等

地等な業難報す特るで町そるのはがに人

有踏報のあ入、すと税役よと地土了関既

る時筆で間 し間のあのの かの調り短猛 縮暑 り 縮 方 従 は の まは法来喫中 せ経での緊 ん験は紙の調 でに調と課査

查鉛題時

まの保却服はいりろ、際。お理まか地 す導冷効をフまなんスに弊りは 入剤率導アすが、ポは社ましが日温 。ら休し塩もず 等がを入ン も付高しのま調憩ツ分 検いめ、つた査を飲キ現 討たるさい、を多料ャ場 でり様がの しな しべたらた最進めはン調 よさ体い響 てスめに空近めにもデ査うれ調てな

いトに冷調でて取ちィのかて管いの

がでの多口まは登がだ物写工のい代らに端ッ調デ 現の機くしす一場 `いか真損形まは360 `末ク査ジた 状使器あン。目に今たらは調状す日度一とスも 、査が。々カ眼レか 、色だ然りはし影近の複そ進メレーら画化 でった々しと屋ドてさく屋雑の化ラフザタ版にろ な根ロいせの根な昔を等力 なもえ規こっの一まて高の建 とにメ計レ い街軽制のて調ンしいい現物屋げとラ測 ツ の中量がドい査のたた建況や根て時か器トベ物の



で用でりはた瞭よでり撮 10 じ書れきれ

感にすでそたでたし」。まれきれ。使の輪ンまス 解がん 年まけば た可面群にスきがに基 、持新軽の購調 能図デ距キま 一離ャせ飛った量使入 る をもタもナん行てにの用し `機市 強簡化計はで禁行購ドを 練 `し止っ入口始3にの く単を測

者まを協る手第るに台場うは所地しわに 必な取のな認うをは一がりて家場まて物あじ屋きで申号建 要どり占いでな使使度登壊い屋合た登とると番まも請を物がのや有こは場用用使記さま番に、記そ場す号す取す記の がのや有こは場用用使記さま番に 記そ場す号す取す記の あ情市者と家合しせ用されす号は建さの合るは、地の等を展りまずしれてがはり物れ附、複、 り報役等も屋 まずしれてがは2物れ附 複 同す 、枝棟がて属主数名登る まを所かあ番調す新たる新 て地 。た家場た建番目複い建との義記 す収のらり号査 に 法・ 、が前こな屋合な物と以数ま物な建人簿 よ務家 す務聞建判のの枝番も建がな降あすとる物をのがり局屋る課き物ら確よ番号、物取っのる。し建が同家で誰で番 。し建が同家で誰で番

しは物で握等

所が調すし借ま土です実ての調のす対者登定査用

立地物合り設地あ数対り査を物更入が調所土をりず

ちの等はま置をりの象まを得等にり存査有地特調

す 三



れつ進の員りまて業 り時の用D調 ばDめ時で遅すい務国ま間短すス査 とXら間もれがるに交すの縮るキ員 、とも省 化れで熟な 短 ヤで えをる外練い時こ Dを 縮内とナな 進よ業調よ代ろX中めう、査うので化心 が業 でをく 可(調 上 T いめう 能図査手も まて少内員若波はをに すいし業並手にあ進補 。けずがみ社乗りめ償 と化時に、



て最等すはの補に がの続は場義 。最所償携長あかき誰合人建 い限所今も有対わ年りなはかでが物 まどど 、あ亡登 りの有後基者象っ ま配者も本のとて補す確うまれく記 す慮の正的正ない償 認なたばな簿 `つの を確確な確るま調 すっ相 こな建す査 るて続相て登 尽認な くに建と把物が業 必いの続い記

務

査相死の査特でと地主 述得従と務利る共防 記地権を続亡登を定あさをにこべら事にを調た用整〇 事登利行人し記実するれ取担のたれし際弊査め地備○ `が相発円業が とののたのための本るたの思験と当受続注滑に施 書正はでた場名後の所的為の中いにを該注人さに必行 、式通しめ合義、権有なにはでまつ通業し調れ取要す 、が地調を報要土が

項記調う確て簿施る土る得当業いたたし社・にを事県 証簿査も定い上した地基すし務と経こ 全に称たのに人土利者情必、私すいじ務た査た得なる 。ててにこ業権す公砂 象子の一調当が土 とに称代権れ事

権 続 調 査

相に返区き関事の(行る籍すあ他登し にか督る家 をてとた査係がさのいす人 行ら相場督ま行随思上表説られよ場る特し続基信町る係務機国すたのるるの記て具と、子般査該死地まで関及理利て項 わ昭続合相たい時わで等明可たう合書定か人づさ村も各を関又るめ附者住事簿、体な婚、的を名亡登たすすび人者い証 れ和とが続、ま公れ、の図能書なが類のしをきれへの市遂がは公に票の所項のま的り姻養に行義し記相た22はあと戸す用る不書、な類場あがた、特1た郵)町行法地用、、戸、「「ずなまは子はう人て簿続 。る住し、る明 調所の又土書 °交書足類戸限を合り返め中定地戸送を村す令方交〇住籍氏に権始業す無 `家ものい上人 、り記籍 査又氏は地 付類しを籍り確はま信ににし権籍し関にるで公付〇民謄名記利め務 。し認族の相たの調 をは名そのに 民ま明ま載謄)知、で続際名査 のにて作簿相認 `すさ必はま者謄 `係請た定共の県票本に載者に内 法で治すし本 す所又の現記 依つい成等続し返。れ要相す分本順各求めめ団依がを、該しそ土容頼いるし調関な信そなと続。の等次市でにる体頼発得戸当ての地と がし前す人に義と 。てに にの31 る在は法在載 °D 規間年家あは 対た妻 こ地名定のさ 人は

要る手人る名

もの再妻がはに中 る工け適豊も判先合いかにき人に がたに子るのてかたい認者す作図る男亡おり男人 も全は居筆方定 `今こ期る切富あ断ど等旨らも公の記そ必め伴が場中いら °くのにる成 `たのしいまのにその間婚は既 `おで私のてそや頭法さ まてし今回と内こななりにうにの該関用住載の要多い相合でるか相った対たし戸め兄ててし母なのでにし存に家い特がでをの亡者でれ すいて後のがにとア先ま迷すお回当わ交所さ他とく、続は死こな続とめしめ、籍、弟い、た親れ場し子て命死督でに担す相長くで、て。きもも経で業にド輩しうれい答者ら付、れ、なの相人そ亡とりがたの、相相簿相がるこ。がな合たがおで亡相難相当。続男なあ戸い もも経で業にド輩しうれい答者ら付、れ、なの相人そ亡とりがにの、相相簿相がるこ。がな合たがおで亡相難相当積同験き務よべやたよばてががず依氏で土り労続にのしかの開た依相続続等続相この調相い、。なりあし続航続した接触まなりく目がまたはなる。 すがつる籍る 験まをりイ同がうよはあ存、頼名い地ま力人なまたら期始な頼続人人調関続と母査続た妻 い `るてしし人た る財た戸謄遺 Aと的なをし完何ス僚、ない、つ在依をにる登しと確るた者、間さりを権のを査係人か親時人めは と長がおたたの業 と産場主本産 考に業踏た了とをか経こかこたし頼し基名記た時定こ下が兄をれましの該特表説にらも点と、相え参務ま。すか受ら験ととの場な先たづ義簿。間のとのい弟経てして確当定を明な長死にな長続 い男既り長案特務 い等合が上相 間のとのい弟経てして確当定を明な長死にな長続 、男件定の すか受ら験ととの場な先たづ義簿 うとに うのに隠の続 2024年8月発行 通巻第143号(昭和63年8月初巻)

ら域は類な と 区不 はれ を 分 生居る林宅い さ 産 動 地地うれ が地る 産 住 の産 `特地地 る用 の建活 物動商に域域地、大学等等を 不 業宅等 域 動 的供構の活地に農の産関 さ築用動地分地種のしは 、域け地別分

妥の別

土用の別定

改に

訂活め

商域方

は

後に郊

ずぼ

あす

幅 岸

工

はが削

き下

ま能周

は

もか

性 囲

ょ

幹地車外与に線での路えさ

道あ利線なほ

種細の分

分種け見

れのれ地地、

に地

じ地等林

比要はが域地域

な

る

0

顧

て地

因 種 異

及 別

個 判

どす

きわ

なち

影 収

を性

大なに

たびの

3

り

さ別ら込宅る種

域れ応

、れのるじ構に

土別土細内い地

別考能の

ではらい

極でな

کے

統る住業傾形はつ細がにた者地向成収て分、

あ因

るが

にが重

益

価 動

格産要

で分はえ等規地地分地

あ揮動用

地に地分容での応の化、は

さ移農の応の化、は
ら行地区じ種が機そ

て

格路も同必化ま性 格的は具形線近じ要したが発不使は差要、体成商隣商がた、あ揮動用個

分

体成商隣商がた

格る率因地的要業商業あ状種るし産方

のの域に因地業地る態別かて

と域に例

でとおえ は郊いば

よめが域が要

商は

業 主

域 背

価 外

ら的的はそ

不動産の種別 について

れ

る

さ

工住に

宅

が法的

十のな

効にに

当

Ł

増

事

7

合

分た

な \aleph 情

用

異化そ

た

性なさの

るれ

ら 域 等

業

等

。た成つ業

業設す 者は 業 ĺ 社 日 登 務 た 半 復 本 者 遠 輪 島 に 島 支 < 興市 参 島 地 支内加市震 っ家に 治れたなど 施たなどで連れたなど 施石の公費 6 でいの施ま解被

たび

対象と

となり

Ł

 \mathcal{O} 壊

半

す。

کے

空所えがにまの

特苦必的か次

たをの

齢 輪

島

土な

(アロの

1

ンは方が

輪島市の現状と 公費解体業務

> ょ 対 棄 発 公たけ 0 象 物 て 現 向 約 カ 2 い時

の解費 ()ことですることでする。 って、被災自治 に決定すること 処理事業! を被 行 災 体と補 が屋積長は的恐揺費等市の計尺なにれれ解を

ま間 Į. 仕 入 場 でし

くはもに体調床部件行体、内あよの査のに調い前 受要はまプ建部るっ現 すを物にたて ますが、 すげ 査がや ` 設 法 建 通 ち査間間 るは公備 や物

 \mathcal{O} て 体搬す 業は解 工 重 事経解 対 る を路体 行 等 の者 のに確は打事解

を 対 のを たし 写 行 ヒ 部 建 て 物の確解 等認体所は項のやで有、の 有建申者現説 無物請に況明

い生

方 活

島

る

びは、世界解

小損体

]

壊の

し対

及の公度の公

解

災所

証 等

明

書

住

すか、市の計尺テー の市に調

必 查

書 建

類 物

れを所

いた 提 有

で

順

 \otimes さ

T

進 理

で、

中

具企 体業

壊

規

も出者 アリ کے 情 開報共有する機関を表現の確認やなのでは、

き 。っ者 で に解 た さは、本れ、工 断線電ガ 流 工れ て 災がな 建始 り 物ままる解

真いの 弊 要 社 事 あ認重合前 ک 儀仮いしい

れざれな設入た。 、半 て 0

能が いて今年 あ を 場所で っての 、 るよう、 るよう、 である。 ŧ ほ 半り な تلح お経地 12 住の 生 生 被 活居方 感 災 活 し

Ł をかをかはじが者 お送ら余ら思ま続にたか で生方 たい業は活がには多 と務あに1撤被 り戻日去災あ まれ で り t たま る で せ杯がよ早被建 いた L た 家 短 る を 微元者 場 屋通営 早ま所が

水分補給を 温度と

こまめな

で両あ者 系あ居商 るは10外 る 格 域 は お異成 決 種 りな要別、スタス 定る 益 別 る別 を る因 づは け不ま判 極 た \mathcal{O} は る動た、定す と う 大 力 0 きく て 重 産 す 細 カュ の不る 分 上の

必

化 述

しの

程

度

格産

増

加

は 要 な 心そ 要 のの素をのがたとが形の

100年企業をめざして! 新目新時代

う 河 ら 及 た の 護 事 か 業 を 発 た 架岸業れな改防単原い河 الم الم うけのにま 良止災形 ま り可に替掘おす複 すの事 るた業 え削いが数 旧 "\ \(\tilde{\pi} \) やを河災基川 エエて 災め を へ事事 もい事 害 中少影と、河ず業関連害 本 事 い大地をでな響い橋床れに連区の 業 をつ梁やの分 事間再し

損 失 事け賠 定 組る \mathcal{O}

は損波水動が事り づ補法 確 業ま 障 枯 • 又用国 のす。 害 渇騒 実 玉 はにや と等 • 音に施 損 と に 家 る償呼の地 予行実害 不 基 補 日見に務賠法づに務上償行く のば通盤 て団 枠れ称変 照 「動阻れり 為 用みも事・害る発公がに損は でた行 振生共あ基失適 のの業電

> す 等 あ 害 業

> > 会後、

通

等の施

し

この施行

間

に

公共事業における 井戸水への影響

力のの

の大果査な限かが、水 とて う三 私に な 地 道 特 らに い 調 いと 事 ŧ 等 経 事 認 完めべがる 了らき社こ い限きか ŧ 使の もラ 水 前の \mathcal{O} 過 も調認原 経 関 度いら水位 で申 す 及を紹、自調本 害が発し、この 験わファは備 重 L 質 観 査 定 則 あ る のれ範 談るラ水 る囲 しは には談るラボーさの「なか施」に思題」自調測要の要かる出自日の囲通」にと起くたれと問イは生れ集ス対発しこなをえ損然査やで実件あこがまかもを念②因発因①に に際枯し題ン最活て落が応生てのり判る害的な降、施にりとなでらの超上当果生し公は、 、湯てででも用いで多がしいよま断もが要ど水定有おま、さに1、え、該関し公共認 が必の井す人重水な上く求たてうすしの受因の量期無いすとれ損年③る受損係た共事定 が発戸。命要とい水、め際もな。てか忍が結調的はて。いた害を工と忍害が損事業要

とど可保か多能、 ど法存回の復 くに益のま使がま各対維 にれめにらな敷設 一のだは遂な ر ا ا 適け用行る治必説部説い用限す種 す持な多能 おまら比を 設す · 性す が条る。 の 復 管り方性作いすれ較技理ま面、業で やると井施の枯しの で地の公水要明分明 ま者度 面の維環 ・ でも、ず ・ は持境 術」代方「戸の が替法代の な取た共安がしに時す食とく得め事全あ、つに。担な 、件費おに用 し、術 設方渇た重を決に、悪 理ま面 理 すの 維 境 の 比 労 等 を 法 に 事やに業上り理いは費業移もの、ま解てこ用 お り、 合 لح ょ 負の あ井 (替 て 及 掘 改はお こ較 り戸 まし び 施 り 造主け 損転 \mathcal{O} 水 設 下 す 12 丁不担て後30な数分内必費水者方用と済 失補今滑要 た 新道をげる「機 へ償後なと だ寧利額しは年りはに 要なの確法さ認的れ設の新な方既能

を基 実 て 考 \mathcal{O} 各発 たこと کے 施 水調 と事 は え な 業 事 5 4 か り 事 カゝ リ 査 6 を実 ま 業 る ス 調 お し川の 決 損 査 井 ク いたで河て。水川 L プラート アラーにつ がある らの超上当果生し公はたを1、え、該関し公共認。図 施 失 水川 図調のして 水幸枯の 果い地いと を

す。 のがっや告は じ報 になも場進使 水ま告 $\overset{\sim}{\smile}$ 急 た 仮 を 速 コあ作行用 伝 やかこう と 務 適 設 え ンれ業し場 サば員て所 ることも と カゝ 切 水 なな道給にい にい付 要 5 ル 性 の水 0 タ 我伝る近 起 り 対 起 ン 業 ま応 を 業 敷 車 Þ え で 強者すのくへ。判 設の者場 1 あ のる合 工 と配へ合 り 業 ょ こは事 のこ断い備報にま者う 感